

東京都障害者スポーツ大会「グランドソフトボール競技」

11月4日(日)、武蔵野中央公園スポーツ 広場にて、東京都障害者スポーツ大会「グラン ドソフトボール競技」が行われました。本学から は、スポーツボランティアプログラムの3年目(リー ダー)の学生が2人、2年目(サポーター)の 学生が2人、1年目の学生が2人の計6人がボランティアとして参加しました。

「グランドソフトボール」とは・・・

「グランドソフトボール」は、視覚障害者が参加する競技です。通常のソフトボールのルールを基本にしています。投手は捕手の手ばたきを頼りにゴロで投球し、打者はボールの転がる音を頼りに打ちます。走者は各塁に配置されたコーチャーの手ばたきを頼りに走塁します。

(第19回東京都障害者スポーツ大会パンフレットより引用)

·会場準備

まず初めに、本部のテントの設営や大会横断幕の設置といった会場の準備をボランティア全員で行いました。

また、音を頼りにして行うグランドソフトボールでは、応援の声等が競技の進行を妨げるおそれがあります。選手が気持ち良く競技を行えるように、試合中の音の配慮やルールについて書かれたカードを会場外の各所に設置しました。

·試合開始

首都大生は主に、「アナウンス」「記録」「ボールパーソン」「表彰式補助」を担当しました。

「アナウンス」担当の学生は、打席ごとに打者の名前をアナウンスしたり、選手交代や攻守交代をアナウンスしたりしました。プレーによっては判断に迷う場面もあったようですが、大会役員の方がその時々の試合の流れを丁寧に教えてくださったため、学生たちは安心してアナウンスをすることができました。

「記録」を担当した学生は、出場選手や選手 交代等に関する試合の動きを記録しました。詳 しいルールが分からないながらも、一緒に記録を 担当していた方に教えていただきながら、一生懸 命に取り組んでいました。

「ボールパーソン」担当の学生は、ファールになったボールを素早く審判に渡す等、試合の円滑な進行に貢献しました。

「表彰式補助」の学生は、試合後に行われた

表彰式で、副賞などを大会関係者の方にお渡ししました。

・グランドソフトボール体験会

昼食後は、「グランドソフトボール体験会」が行 われ、ボランティアや競技役員の方を含めた全 員が参加しました。グランドソフトボールでは、野 球やソフトボールよりもボールが大きい分、バット がとても重く作られています。さらに、投手はスト レートの速球に加え、カーブやシュート等の変化 球も織り交ぜながら投球するため、野球やソフト ボールの経験者でもバットにボールを当てるだけ で精一杯です。1人3打席ほどバッティングを体 験させていただき、試合を観ているだけでは分か らないような競技の難しさや楽しさに気付くことが できました。守備の体験では、戦略的な動きの 難しさを知りました。グランドソフトボールでは、打 者が打ったボールがたとえゴロでも全盲の選手が ボールが止まる前にキャッチすれば野球のフライ のような扱いとなりアウトになります。打球の処理 を全盲の選手に任せるのか、それとも自分が素 早く捕って塁に投げた方がいいのか、判断が遅く なってしまうと打者はどんどん進塁します。障がい 者スポーツはルールが細かく難しいという側面が ありますが、その分、戦略的なプレーの奥深さが あり、体験会を通じてその魅力を知ることができ ました。

~参加学生の感想~

・「今回はソフトボールのルールを全く知らないにもかかわらず、記録係になってしまい、どうしたら良いのか分からなかったのですが、周りの方々に教えてもらいながら少しずつルールが理解できたので、とても勉強になりました。グランドソフトボールのルールは複雑ですが、その分全盲の方が活躍できたりと、皆が楽しめる工夫が詰まっているのでとてもいい競技だと思ったし、もっと広まってほしいと思いました。」

・「グランドソフトボールが視覚障がい者のスポーツだとはじめに聞いた時にはブラインドサッカーのようにほぼ全員が全盲かアイマスクによる全盲状態で行うものだと思いましたが、障がいの程度の差異を逆に利用して各選手がありのままの視覚状態で混合してプレーできることに、この競技の面白さを感じました。」

スポーツボランティアプログラム

東京都障害者スポーツ大会 「グランドソフトボール」 **報告**

2018/11/04



会場準備の様子



表彰式の様子



バッティングを体験している様子



セカンドの守備では走者をアウトにしました!